



大阪薬科大学

Osaka University of Pharmaceutical Sciences

幅広い分野で活躍する薬剤師、薬と生命を探究する研究者が輩出している大阪薬科大学は、110有余年の歴史と伝統を誇る。医師と対等に議論でき、高い生命倫理観を持つ「薬学人」の育成に力を注ぎ、薬学教育をリードする。

最強のチーム

大 阪薬科大学の発祥の地は、薬の町として知られる大阪の道修町です。1904（明治37）年に設立した大阪道修薬学校を前身とし、卒業生は2万人を超えました。病院・薬局薬剤師をはじめ、企業における医薬食品研究、開発・情報提供、医薬行政、医薬関連教育など幅広い分野で活躍しています。長い歴史の中で、卒業生が多方面で実績を残しているのは本学の強みです。

これからの薬学教育で重要なのが、イギリスで始まった専門職連携教育（IPE: Inter-Professional Education）です。医学部、薬学部、看護学部が、早い段階から共通のカリキュラムで一緒に勉強する教育方法のことを指します。チーム医療がますます普及していくなかで、医療系の学生どうして連携することには大きな意味があります。



政田 幹夫学長

本学は今年4月、大阪医科大学と法人合併しました。合併により、専門職連携教育はこれまで以上にスムーズに実施できるでしょう。そして、大阪大病院を臨床現場として、より充実した実習教育が可能となります。薬学生に求められる、高い生命倫理観を養うためにも非常に良い環境が、今まさに整ったのです。臨床現場の豊かな実習経験から培った高い生命倫理観は、薬剤師だけでなく、薬学研究者、製薬会社のMR（医療情報担当者）、薬務行政の担当者など、薬学に携わるすべての人の礎になるはず。また、本学と大阪医科大学の教員による共同研究の話合いも、着々と進んでいます。

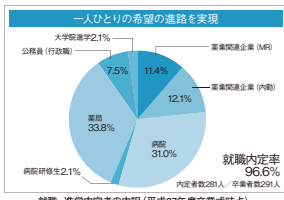
私立大学医学部として、全国でも指折りの実力を持つ大阪医科大学と、優秀な薬剤師が数多く輩出している本学の法人合併は、「最強のチーム」と呼ぶにふさわしい組み合わせだと自負しています。専門職連携教育、共同研究をこれまで以上に推進し、人の命を救う「薬学人」を育てていきます。

Visions

高い生命倫理観を備えた人の命を救う「薬学人」に

大 阪薬科大学の薬学部は、即戦力となる薬剤師を育成する「薬学科」（6年制課程）と、研究職など様々な薬学関連分野での活躍を目指す「薬科学科」（4年制課程）から構成される。3年次までは同一カリキュラムで学び、4年次の進級時に学科を決める選択制を取っている。入学後の早い時期に、医療や福祉などの現場を体験できるのも特徴。早期に幅広い進路を知ることで目標が明らかになり、その後の学習意欲の向上につながっている。薬剤師国家試験に向けた講義も集中して実施し、きめ細かな指導で毎年高い合格率を維持している。第10回薬剤師国家試験の結果は、総数87.28%と全国平均76.85%を上回る。

「本学は人の命を救う「薬学人」を育てます。私が考える薬学人とは、新しい薬を開発する「創薬」と、有効性や安全性の高い薬に育てていく「育薬」によって、人の命を救う人です。これらの薬学人としての高い生命倫理観を身につけることが必要で、そのために臨床現場での実習を重視しています。チーム医療が確立された今、医学や看護学の教育の根幹にある「人



の命に関わる」という意識を、薬学教育でも共有することが欠かせません」と政田幹夫学長。

高い生命倫理観とともに薬剤師に求められるのは「薬物療法に関して、医師と対等に議論できる知識と技能」だ。その考えの根本にあるのは「医薬分業」の完全な実践に対する強い思いだ。

「本来の医薬分業とは、薬剤師が医師とは別の立場から医薬品の適正使用を推進するシステムのことで、医師の処方箋を薬剤師が監査することに本質があります。この医薬分業を実践するには、医師と対等な立場で議論できるような、信頼関係を築かなければなりません。信頼を得るには、医師ら医療職と「共通言語」でコミュニケーションを図ることが重要で、ここをいう共通言語とは、高い生命倫理観の基盤にある薬物療法に関わる様々な医療知識です。医師、看護師ときちんと話ができれば、患者さんともスムーズ

にコミュニケーションできます」

2015年度からは新コア・カリキュラムに基づく教育が始まり、医薬品に対する高度な知識や技術習得だけでなく、医薬品を投与される患者の病態や病気のものへの理解を進める。「新コア・カリキュラムによって、学びの内容がより医学に近づきました。本学は治療や検査値に関する専門用語の理解、電子カルテを読むなど、医師、看護師と科学的議論をする上で必要な教育を強化していきます」

※ 受験者数293.0人に対し合格者数243.0人

Topics

各種連携教育や共同研究 法人合併により加速

今 年4月、大阪薬科大学と大阪医科大学が法人合併したことを受け、医学、薬学、看護学が連携する取り組みが動き出した。これまで大阪医科大学の医学部と看護学部が連携し、高知県の山間部で実施している地域医療に関する活動に、今年から薬学部の学生も加わることになった。薬学部からは病院や薬局での実習を終えた6年次生が参加する。この夏に地域医療の現場に入り、医・薬・看の学生が連携して活動する予定だ。

両大学の教員がタッグを組んだ共同研究の話も進んでいる。患者に投与する薬が体の中でどのような動きをするかを調べるために、共同研究しようというもの。特に最近の薬は投与量の少しの違いや、個人個人により、服用時の体内での動きがまったく変わることがある。薬の動きを解析することで、患者への適正な投与と設計ができるようになるという。

新しい施設も開設した。今年4月、学内に「臨床薬学教育研究センター」を設置。「医師と薬物療法に関して対等に議論できる知識と技能」を育成するため、臨床現場と薬学をつなぐ教育内容を検討するほか、病院との共同研究も推進する。病院の薬剤部での経験があり、かつ医学、薬学教育にも携わった教員6人を同センターのスタッフに選び（最終的には10人体制を予定）、臨床現場における薬学教育をより一層充実させる。

さらに、来年には薬学出身者の学びをサポートする生涯学習センター（仮称）の開設を計画している。医療・生命科学分野の発展は目覚ましい、卒業後も自己研鑽を怠らず、最新の薬学を身につけることが求められるからだ。

「昨年度から新コア・カリキュラムに基づく教育が始まりましたが、最初のコア・カリキュラムから10年も経たないうちにカリキュラムが刷新されるほど、医療・生命科学領域は日々進展しています。入学時と卒業時ですら、勉強する内容は変わってきているほどです。薬学人にとって、生涯教育は必須課題といえるでしょう。本学としても、学び続けたい人への教育の充実を図っていきます」と政田学長は語気を強める。



時代の要請に応じた実習と講義

医療・生命科学が日進月歩で進む中、大阪医科大学との連携や新しい教育活動で、時代をリードする薬学教育を展開する大阪薬科大学。「病に苦しむ人々を創薬で治したい、世界と肩を並べられる薬剤師になりたい——本学はそのような強い思いに、とことん応えます」



2次元コードで特設サイトに入社者からアクセスできます！

満足度が高い講義 相談しやすい薬剤師に

薬学部 薬学科 4年次生 飯田祥子さん
 中学・高校の職場体験で薬剤師への思いが強まり、伝統があり卒業生とのつながりが深い大阪薬科大学に進学。1年次生の早期体験学習で大阪大病院に行き、病院での仕事の理解を深め、将来像がよりクリアになりました。薬を使った薬学実習はどれも興味深く、生命倫理などを事例から学ぶ「医療総合人間学」は薬剤師として患者さんに接する時に必要だと実感しました。今は地域医療にも企業で働くことに興味があります。どの道に進んでも、薬のことを気軽に相談してもらえる存在でありたいです。大学には同じように薬剤師を志す仲間が集まっているので、皆仲が良く先生との距離が近いのも魅力。入学から6年間、1人の担当教員がトータルでサポートしてくれるアドバイザー制度が心強いです。

府民の病気を予防 行政職のたいご味

大阪府 健康医療部 環境衛生課 生活衛生グループ 山本正人さん
 (2013年3月薬学部薬学科卒業)
 大阪府の薬学職として入庁。現在は主に「国家戦略特別区域外国人滞在施設経営事業（特区民泊）」の認定業務を担当しています。外国人旅行者の快適で清潔な滞在を支える重要な役割であるうえ、注目を集めている事業だけに、充実した日々を送っています。薬剤師が行政機関でも活躍できると感じたのは、5年次生で参加した大阪府のインターンシップです。薬剤師の資格を要する「環境衛生監視員」の立場で、府民の病気を予防する公衆衛生に役立つ業務内容が、強く心に響きました。大阪薬科大学は、早期体験学習やキャリアガイダンスなどで、低年次のうちから将来「薬学人」として活躍する姿を学生にイメージさせてくれます。職場でも大学の先輩は多く、伝統を持つ大学ならではのネットワークの広さを感じています。



2016年春、日本最高水準の医療・教育・研究環境の実現のため、学校法人大阪医科大学と学校法人大阪薬科大学は法人合併しました。今後は、大学統合をめざします。
<http://www.omp.ac.jp/>

大阪医科大学 医学部/看護学部
 〒569-8686 大阪府高槻市大町2-7
<http://www.osaka-med.ac.jp/>

オープンキャンパス 7月17日(日) 8月6日(土) 8月7日(日) ※看護学部のみ

大阪薬科大学 薬学部
 〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1
<http://www.oups.ac.jp/>

オープンキャンパス 7月30日(土) 7月31日(日) 8月21日(日) 10月1日(土)

高槻中学校・高等学校
 〒569-8505 大阪府高槻市沢良木町2-5
<http://www.takatsuki.ed.jp/>

入試説明会 10月15日(土) 11月12日(土)